

令和3年度 第10回

定時総会議案

日 時 令和3年5月14日（金）午後2時

場 所 一般社団法人函館建設業協会3階講堂

一般社団法人 函館建設業協会

定 時 総 会 次 第

- 1 開会のことば
- 2 出席会員数報告
- 3 会長あいさつ
- 4 決議事項
 - 第1号議案 令和2年度事業報告について
 - 第2号議案 令和2年度収支決算書について
- 5 そ の 他 会員の代表者名の変更、会員の動静
- 6 閉会のことば

令和2年度

事業報告

令和2年4月 1日から

令和3年3月31日まで

一般社団法人 函館建設業協会

第1号議案

令和2年度事業報告について

令和2年度事業報告

新型コロナウイルス感染症が全世界で猛威を振るい、国内でも感染は拡大傾向にあり、変異株の拡散も不安視され、当初想定していたよりも長く深くなりつつあると思われま。会員各位には、国土交通省が定めた建設業における新型コロナウイルス感染予防対策ガイドラインの周知徹底をお願いいたしました。

「防災・減災、国土強靱化のための5ヵ年加速化対策」が決定され、令和3年度当初予算及び令和2年度補正予算での北海道開発事業費の合計は前年度を上回る結果となり、建設業の経営の安定化に繋がるものと考えられます。

全国的に多発する自然災害は、頻発化・激甚化しており、道南地域の安全・安心の守り手として当協会は応急・復旧対策に全力で取り組んできたところであり、今後も関係機関と連携してその役割を果たしていくためには経営基盤の強化、経営の安定化が重要であり、安定的継続的な事業量により、適正な利潤を確保していく必要があります。また、道南地域では全国に先行して少子高齢化が進み、労働人口の減少が懸念されており、担い手である技術者、技能者の確保・育成が建設産業の喫緊の課題となっております。

なお、渡島・檜山管内の建設業における令和2年の労働災害の発生状況は、死者数は1人と前年に比べ1人減少となっておりますが、死傷者数は99人と前年に比べ27人増加いたしました。会員各位には労働災害防止対策に万全を期していただきたくお願いいたします。

令和2年度に実施しました事業について次のとおり報告いたします。

1 社会資本整備促進のための取り組み

道南地域における社会資本整備を促進するため、下記の取り組みを行った。

- (1) 北海道開発予算の増額確保を求めて、国土交通省 国会議員、北海道議会議員、関係機関などに様々な機会を捉えて要望活動を行った。
- (2) 北海道開発局、函館開発建設部、北海道建設部及び函館建設管理部と公共工事の諸課題に関する意見交換会を行った。
- (3) 函館建設管理部と土木委員により工事発注前三者検討会を行った。

(4) 函館建設管理部建設業経営効率化検討会を開催し意見交換会を行った。

2 地域建設業の健全な発展に向けた取り組み

地域建設業の健全な発展を図るためには、技術力の向上、施工現場の効率化、適正利潤の確保などが必要であり、この実現に向けて下記の取り組みを進めた。

- (1) 函館建設管理部と函館建設技術連携協議会との意見交換会は、コロナ禍のため延期となったが、今後も仮設計画における標準工法と現場施工との乖離等について継続して協議することを確認した。
- (2) 会員各位から、工事施工に伴う問題点・設計積算等に関する課題について提出していただき土木委員会で取りまとめをし、函館開発建設部・函館建設管理部と意見交換会を行った。

3 働き方改革実現に向けた取り組み

建設産業における担い手不足によって、社会資本整備や災害時等の緊急対応に支障が生じかねないと懸念されることから、若者たちが夢を託せる「魅力ある建設産業」を実現していくことが強く求められている。

そのためには、そこに働く者の適正な賃金水準の確保などの処遇改善を図ることが不可欠であり、その実現のために次の取り組みを行った。

- (1) 建設業への入職促進を図るため、高校生を対象にしたインターンシップ事業として、建設工事現場見学会、第一種酸素欠乏危険作業に係る特別教育、さらには建設業経理事務士検定試験に係る助成を行った。
- (2) 女性活躍の推進に向けた事業の取り組みを行った。
- (3) 若年建設技術者等を企業内で養成する、函館総合建設高等職業訓練校の事業活動を支援し、助成を行った。
- (4) 公共事業設計労務単価の改善に資する労務費調査説明会、事前相談会を開催した。

- (5) 建設労働者の福祉の向上を図るため、建退共、法定外労災補償制度への加入促進、社会保険未加入対策の推進等の取り組みを進めた。

4 大規模自然災害等への対応の取り組み

全国的に自然災害が多発傾向にあるなか、大規模な自然災害に備えるため、下記の取り組みを行った。

- (1) 函館開発建設部、函館建設管理部、函館市と締結した防災協定に基づき、資機材保有状況について統一様式によるデータベース化を行い、大規模自然災害等の発生時における機動的対応力の向上を図った。
- (2) 令和2年度函館市防災総合訓練に参加した。

5 戦略的広報への取り組み

建設業の果たす社会的な役割を広く一般に正しく理解してもらう手段として戦略的広報は欠かせないものと考え、下記の事業に取り組んだ。

- (1) (一社)全国建設業協会編集発行している全建ジャーナルを毎月会員各位へ送付した。
- (2) アイヌ文化復興拠点「民族共生象徴空間(ウポポイ)」視察研修を行った。
- (3) 2021年の「北海道・北東北の縄文遺跡群」世界遺産登録への実現に向けた取り組みの推進。
- (4) 函館建青会を支援し各種イベントを実施するなどにより、一般市民に安心と安全な地域社会をつくる建設業を戦略的にPRした。
- (5) 建設産業ふれあい展で、各種広報活動状況をPRした。

6 労働災害防止対策及び、交通安全運動の取り組み

労務安全委員会を中心に、安全衛生管理体制確立の促進、リスクアセスメントの確実な実施の促進、フルハーネス型安全帯特別教育、職長・安全衛生責任者教育、建設工事に従事する労働者に対する安全衛生教育を開催し、さらには函館労働基準監督署及び発注機関との工事現場安全指導パトロールを行い、建設現場において稼働している建設機械に装着するマグネット式の「目玉シート」を各方面に普及を進め、重機災害の防止とともに労働災害の絶滅を目指した。

また、「道南地区建設業交通安全大会」を開催し交通安全意識の高揚を高め、交通安全運動を展開し、引き続き交通事故防止の徹底に取り組んで参りました。

7 その他

コロナ禍の中で開催の中止、延期、規模縮小などをよぎなくされたものもありますが、会員相互の協調のための各種行事を実施し、各委員会の活動並びに、事業計画に沿った施策の展開を実施いたしました。

これらの事業実施のため、会員各位の深いご理解とご協力をいただきながらこの1年間を経過することができました。

令和2年度 事業実績概要

1. 定時総会

年 月 日	議 題	出 席 者
2. 5. 15	第1号議案 平成31年度事業報告について	会員の総数 58名 出席社員数 20名 書面決議数 37名
	第2号議案 平成31年度収支計算書について	委任状 1名 会員が有する 議決権数 58個
	第3号議案 会費規定等の改正について	
	第4号議案 理事選任の件	
	第5号議案 監事選任の件	

2. 会長・副会長会議

年月日	回数	議 題
2. 4. 16	(1)	(1) 第1回理事会の提出議案について (2) その他
2. 5. 15	(2)	(1) 第2回理事会の提出議案について (2) 第9回定時総会について (3) 当面の諸問題について (4) その他
2. 5. 28	(3)	(1) 当面の諸問題について (2) その他
2. 6. 8	(4)	(1) 函館建設管理部との意見交換会について (2) その他
2. 7. 1	(5)	(1) 函館開発建設部との意見交換会について (2) その他
2. 8. 3	(6)	(1) 当面の諸問題について (2) その他
2. 8. 17	(7)	(1) 北海道建設部との意見交換会について (2) その他
2. 8. 31	(8)	(1) 函館建設管理部との意見交換会について (2) その他
2. 9. 29	(9)	(1) 第3回理事会の提出議案について (2) その他
2. 10. 16	(10)	(1) 第4回理事会の提出議案について (2) その他
2. 10. 21	(11)	(1) 北海道建設部との意見交換会について (2) その他

年 月 日	回 数	議 題
2. 11. 4	(12)	(1) 当面の諸問題について (2) その他
2. 12. 8	(13)	(1) 当面の諸問題について (2) その他
2. 12. 11	(14)	(1) 第5回理事会の提出議案について (2) その他
3. 1. 7	(15)	(1) 当面の諸問題について (2) その他
3. 2. 8	(16)	(1) 当面の諸問題について (2) その他
3. 2. 19	(17)	(1) 当面の諸問題について (2) その他
3. 3. 9	(18)	(1) 当面の諸問題について (2) その他
3. 3. 26	(19)	(1) 第6回理事会の提出議案について (2) その他
3. 3. 29	(20)	(1) 当面の諸問題について (2) その他

3. 理事会

年 月 日		議 題
2. 4. 16	(1) 理事会	<p>(報告事項)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 各委員会の報告事項について 2. 令和2年度第56回函館建設業協会表彰式について 3. 令和2年度建設工事現場責任者等に対する労働災害防止及び労務管理講習会の開催について 4. 令和2年度北海道建設業協会定時総会における代議員の選出について 5. 当面の諸問題について 6. その他 <p>(決議事項)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 会員の代表者名の変更について 2. 令和2年度第9回定時総会の開催並びに提出議案について 3. その他
2. 5. 15	(2) 理事会	<p>(報告事項)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 各委員会の報告事項について 2. 第9回定時総会について 3. 当面の諸問題について 4. その他 <p>(決議事項)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 令和2年度第56回一般社団法人函館建設業協会表彰式について 2. その他
2. 9. 29	(3) 理事会	<p>(報告事項)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 各委員会の報告事項について 2. 第40回道南地区建設業交通安全大会開催について 3. 当面の諸問題について 4. その他

年 月 日	回 数	議 題
2. 10. 16	(4) 理事会	<p>(決議事項)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 会員の代表者名の変更について 2. 準会員の代表者名の変更について 3. 準会員の退会について 4. 準会員の新規加入について 5. その他 <p>(報告事項)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 各委員会の報告事項について 2. 第40回道南地区建設業交通安全大会について <p>(決議事項)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 会員の退会について 2. 準会員の退会について 3. その他
2. 12. 11	(5) 理事会	<p>(報告事項)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 各委員会の報告事項について 2. 令和3年新年交礼会について 3. 協会事務局の来訪対応について <p>(その他)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 当面の諸問題について 2. その他
3. 3. 26	(6) 理事会	<p>(報告事項)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 各委員会の報告事項について 2. 会員の代表者名の変更について 3. 全国建設業協会表彰の推薦者決定について 4. 北海道建設業協会表彰の推薦者について 5. 令和2年度収支予算の変更について 6. 令和3年度事業計画・収支予算について 7. 令和3年度第1回理事会の開催日について 8. 当面の諸問題について 9. その他

4. 委員会

(1) 総務委員会

年月日	回数	議 題
2. 4. 16	(1)	1. 令和2年度第9回定時総会の開催並びに提出議案について 2. 令和2年度第56回函館建設業協会表彰式について 3. 当面の諸問題について 4. その他
3. 2. (書面開催)	(2)	1. 令和3年度北海道建設業協会会長表彰候補者の推薦について (1) 第4条第4号表彰候補者について (2) 第6条表彰候補者について (3) 第8条表彰候補者について
3. 3. 26	(3)	1. 令和2年度収支予算の変更について 2. 令和3年度事業計画・収支予算について 3. 当面の諸問題について 4. その他

(2) 土木委員会

年 月 日	回 数	議 題
2. 7. 9	(1)	1. 当面の活動等について 2. その他
2. 9. 8	(2) 小委員会	1. 発注者に対する要望項目について 2. その他
2. 11. 9	(3) 小委員会	1. 北海道開発局との令和2年度公共工事の諸課題に関する意見交換会での意見内容について 2. その他
2. 11. 19	(4)	1. 函館建設管理部との意見交換会について 2. 函館開発建設部との意見交換会について 3. 函館開発建設部との工事現場安全指導パトロールについて 4. 当面の諸問題について 5. その他

(3) 建築委員会

年月日	回数	議 題
2. 8. 4	(1)	1. 北海道建設業協会建築委員会議事について 2. 令和2年度建築委員会活動予定について 3. 当面の諸問題について 4. その他
2. 11. 18	(2)	1. 北海道開発局営繕部及び函館開発建設部施設整備課 (営繕部門)との意見交換会について 2. 当面の諸問題について 3. その他

(4) 労務安全委員会

年月日	回数	議題
2. 4. (書面開催)	(1)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 業種別労働災害発生状況について 2. 令和2年度建設工事現場責任者等に対する労働災害防止及び労務管理講習会の開催について 3. 建設工事着工期労働災害防止運動の実施について 4. 第56回北海道建設業労働災害防止大会について 5. 各種作業主任者等技能講習会について 6. 当面の諸問題について 7. その他
2. 6. (書面開催)	(2)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 業種別労働災害発生状況について 2. 第1回建設現場自主安全パトロールについて 3. 第1回函館開発建設部との工事現場安全指導パトロールについて 4. 第93回全国安全週間について 5. 第56回北海道建設業労働災害防止大会について 6. 建災防函館分会通常総会・事業場表彰式・特別講話について 7. 当面の諸問題について 8. その他
2. 8. (書面開催)	(3)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 業種別労働災害発生状況について 2. 第2回函館開発建設部との工事現場安全指導パトロールについて 3. 第3回函館開発建設部との工事現場安全指導パトロールについて 4. フルハーネス型安全帯特別教育について 5. 令和2年度公共事業労務費調査について 6. 令和2年度第40回道南地区建設業交通安全大会について 7. 函館工業高校現場見学会について 8. 令和2年度第71回全国労働衛生週間について 9. その他
2. 9. (書面開催)	(4)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 業種別労働災害発生状況について 2. 第3回函館開発建設部との工事現場安全指導パトロールについて 3. 令和2年度(第71回)全国労働衛生週間の実施について 4. 第2回建設現場自主安全パトロールについて 5. 建設工事追込み期労働災害防止運動の実施について 6. 令和2年度公共事業労務費調査地方説明会について 7. 第40回道南地区建設業交通安全大会について 8. 函館工業高等学校(建築科2年生、環境土木科1年生)の工事現場見学会について

年月日	回数	議題
2. 10. 21	(5)	<ul style="list-style-type: none"> 9. 9月労務研究会報告について 10. 今年度函館労働基準監督署との合同パトロールについて 11. フルハーネス特別教育について 12. その他 <ul style="list-style-type: none"> 1. 業種別労働災害発生状況について 2. 第4回函館開発建設部との工事現場安全指導パトロールについて 3. 建設工事追込み期労働災害防止運動の実施について 4. 函館工業高等学校（建築科2年生、環境土木科1年生）の工事現場見学会について 5. 函館工業高等学校（建築科2年生、環境土木科2年生）の第1種酸素欠乏症に係る特別教育について 6. 令和2年度公共事業労務費調査地方説明会について 7. フルハーネス型特別教育について 8. 今年度函館労働基準監督署との合同パトロールについて 9. 函館労働基準監督署尾崎安全衛生課長より情報提供 10. 建災防北海道支部「専門工事業者等の安全衛生活動支援事業」について 11. 9月労務研究会報告について 12. その他
3. 3. 15	(6)	<ul style="list-style-type: none"> 1. 業種別労働災害発生状況について 2. 函館労働基準監督署からの連絡事項について 3. 各種作業主任者等講習会について 4. 令和3年度建災防安全衛生表彰について 5. 当面の諸問題について 6. その他

建設現場自主安全パトロール及び
 函館労働基準監督署・函館開発建設部・函館建設管理部
 との建設現場安全指導パトロール実施状況

回数	実施年月日	事業所数				参加者					
		土木 建の 築の 区分	地 域 の 区 分	件数	計	監督署	開建	建設 管理部	会長 副会 理	土木委員 労務委員 事務局	計
1	2.7.1	土木	市内	4	4				4	5	9
		建築	内外								
2	2.7.29	土木	市内	3	3	1	5			3	9
		建築	内外								
3	2.8.26	土木	市内	3	3	1	4			3	8
		建築	内外								
4	2.9.30	土木	市内	3	3		5			4	9
		建築	内外								
5	2.10.5	土木	市内	3	6				4	4	8
		建築	内外	3							
6	2.12.2 3	土木	市内	4	4	1	5			4	10
		建築	内外								
7	3.1.28	土木	市内	2	3	1	3			3	7
		建築	内外	1							
8	3.2.12	土木	市内	3	3				2	4	6
		建築	内外								
		土木	市内								
		建築	内外								
		土木	市内								
		建築	内外								
		土木	市内								
		建築	内外								
計		土木	市内	15	29	4	22	0	10	30	66
		建築	内外	10							
		土木	市内	4							
		建築	内外	0							

5. 陳情・要望・懇談

年月日	名 称	出席者
2. 6. 8	函館建設管理部との意見交換会	会長・副会長等
2. 6. 12	函館市住宅都市施設公社第1回理事会	中田建築委員長
2. 7. 1	北海道建設技術センター岡田理事長等との懇談	会長・副会長等
2. 7. 2	函館開発建設部との意見交換会	会長・副会長等
2. 7. 15	第1回道南地区生コンクリート品質管理連絡協議会 小委員会合同会議（書面決議）	土木・建築委員
2. 7. 31	自由民主党北海道第八選挙区支部 「昼食懇談会」	森川会長 中塚副会長
〃	自由民主党北海道第八選挙区支部 「選挙対策研修会」	大門事務局長
2. 8. 17	北海道建設部との意見交換会	会長・副会長 土木・建築委員長
2. 8. 31	函館建設管理部との意見交換会	会長・副会長等
2. 9. 2	第1回労働災害防止団体等連絡会議	松澤総務係長
2. 9. 17	北海道開発局との意見交換会	会長・副会長等
2. 10. 2	第2回道南地区生コンクリート品質管理連絡協議会 小委員会合同会議（書面決議）	土木・建築委員
2. 10. 21	北海道建設部との意見交換会	会長・副会長 各委員長

年 月 日	名 称	出 席 者
2. 10. 30	令和2年度北海道地域懇談会	森川会長
2. 11. 10	令和2年度公共工事の諸課題に関する意見交換会 北海道開発局との意見交換会	会長・副会長 各理事等
2. 11. 18	北海道開発局営繕部並びに函館開発建設部施設整備課 と建築委員会との意見交換会	建築委員会委員
2. 12. 8	函館開発建設部と土木委員会との意見交換会	土木委員会委員
〃	函館建設管理部工事発注前三者検討会	土木委員等
2. 12. 15	第2回函館建設管理部工事発注前三者検討会	土木委員等
2. 12. 18	函館市安全都市推進委員会役員会	大門事務局長
2. 12. 21	令和2年度公共工事の諸課題に関する意見交換会 (WEB会議)	森川会長 吉田副会長
3. 1. 27	北海道建設部との意見交換会	吉田副会長 土木・建築委員長
3. 2. 26	第3回函館建設管理部工事発注前三者検討会	土木委員等
3. 3. 15	北海道建設業協会土木委員会と北海道建設部及び 北海道開発局との意見交換会	山田土木委員長

6. 研修・講習・説明会

年月日	名 称	場 所	受講者数
2. 4. 2	フルハーネス型安全帯特別教育	協会3階講堂	30名
2. 4. 7	施工管理者等のための足場点検実務者研修	協会3階講堂	30名
2. 4. 9 10	足場の組立等作業主任者技能講習	協会3階講堂	30名
2. 4. 14	職長・安全衛生責任者能力向上教育	協会3階講堂	29名
2. 4. 16 17	職長・安全衛生責任者教育	協会3階講堂	30名
2. 7. 8	監理技術者講習	協会3階講堂	22名
2. 9. 2 4	令和2年度2級(学科・実地)土木施工管理技術 検定試験受験講習会	協会研修室	10名
2. 9. 2	監理技術者講習	協会3階講堂	22名
2. 9. 25	建設工事に従事する労働者に対する安全衛生 教育	株NIPPON 会議室	17名
2. 9. 30	フルハーネス型安全帯特別教育	協会3階講堂	29名
2. 10. 7	公共事業労務費調査現況調査に関する説明会	協会3階講堂	29名

年月日	名 称	場 所	受講者数
2. 10. 14	令和2年度雇用管理研修	協会3階講堂	15名
2. 10. 26	フルハーネス型安全帯特別教育	協会3階講堂	14名
2. 11. 4	監理技術者講習	協会3階講堂	29名
2. 11. 5	令和2年度北海道橋梁点検講習会	協会3階講堂	60名
2. 12. 10	函館工業高等学校建築科2年生に対する第一種酸素欠乏危険作業に係る特別教育	函館工業高校	40名
3. 2. 3	監理技術者講習	協会3階講堂	25名
3. 2. 15	函館工業高等学校環境土木科2年生に対する第一種酸素欠乏危険作業に係る特別教育	函館工業高校	39名
3. 3. 2	監理技術者講習	協会3階講堂	29名
3. 3. 9	フルハーネス型安全帯特別教育	協会3階講堂	28名
3. 3. 11	足場作業特別教育	協会3階講堂	16名
3. 3. 14	第39回建設業経理事務士検定試験	協会3階講堂 協会第一会議室	134名
3. 3. 24 25	職長・安全衛生責任者教育	協会3階講堂	29名
3. 3. 30	安全衛生推進者能力向上（初任時）教育	協会3階講堂	16名

7. 慶弔・厚生・行事

年月日	名 称	出席者
2. 4. 13	函館総合建設高等職業訓練校 令和2年度土木施工科集合訓練開講式	大門事務局長
2. 7. 10	夏の交通安全運動「飲酒運転根絶総決起大会」	松澤総務係長
2. 8. 7 8	アイヌ文化復興拠点 「民族共生象徴空間（ウポポイ）」視察研修	広報委員等 10 名
2. 9. 11	渡島・檜山地域「建設業経営支援個別相談」	会員等多数
2. 9. 24	第 41 回建設産業交通安全全道大会	会長・副会長等
2. 10. 13	令和2年度函館市防災総合訓練	大門事務局長 松澤総務係長
2. 10. 16	第 40 回道南地区建設業交通安全大会	来賓、会員等 70 名
2. 10. 25	「伊達忠一先生桐花大綬章を祝う会」	森川会長
2. 12. 15	一般道道八雲今金線今金橋「渡橋式」	森川会長
3. 1. 15	令和2年度安全活動実践功労賞表彰式	千葉労務安全 委員
3. 3. 19	函館総合建設高等職業訓練校 令和2年度普通職業訓練修了式	大門事務局長
3. 3. 28	函館新外環状道路（一般国道 278 号） 空港道路（赤川 I C～函館空港 I C）開通式	森川会長

8. 若年建設従事者入職促進事業

1. インターンシップ事業

(1) 建設工事現場見学会 令和2年10月15日(木)

・鹿部町役場新庁舎建設工事

・市営住宅大川団地1号棟新築主体その他工事

函館工業高等学校(建築科2年生) 40名

〃(教諭) 5名

函館建設業協会労務安全委員、事務局 3名

計 48名

(2) 建設工事現場見学会 令和2年10月22日(木)

・北海道新幹線渡島トンネル(南鶉)工事

函館工業高等学校(環境土木科1年生) 40名

〃(教諭) 4名

函館建設業協会土木委員、労務安全委員、事務局等 3名

計 47名

9. 函館総合建設高等職業訓練校への助成事業

若年建設技術者及び熟練技能者を企業内で養成するため、昭和53年に函館総合建設高等職業訓練校に土木系、土木施工科が設置されて以来、職業訓練校の事業活動を積極的に援助するため、助成を実施しております。

今年度は、同校に土木系、土木施工科が設置されて42年目にあたりますが、第42期生7名が訓練を終え、第43期生5名が在籍しております。

第2号議案

令和2年度収支決算書について

令和2年度 貸借対照表

令和3年3月31日現在

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1.流動資産			
現金預金	39,239,994	9,313,050	29,926,944
貸倒引当金			
未収入金補助金			
流動資産合計	39,239,994	9,313,050	29,926,944
2.固定性資産			
(1)定期預金			
退職給付引当資産	26,889,750	26,889,750	0
減価償却充当分			0
会館建替充当分			0
特別支出充当分	27,110,250	27,110,250	0
定期預金合計	54,000,000	54,000,000	0
(2)その他の固定資産			
土地	112,700,000	112,700,000	0
建物	33,539,883	37,579,234	△ 4,039,351
什器備品	130,100	245,172	△ 115,072
有価証券	2,275,000	2,275,000	0
その他の固定資産合計	148,644,983	152,799,406	△ 4,154,423
固定資産合計	202,644,983	206,799,406	△ 4,154,423
資産合計	241,884,977	216,112,456	25,772,521
II 負債の部			
1.流動負債			
預り金	752,133	638,178	113,955
未収会費			
流動負債合計	752,133	638,178	113,955
2.固定負債			
退職給付引当金	26,889,750	26,889,750	0
固定負債合計	26,889,750	26,889,750	0
負債合計	27,641,883	27,527,928	113,955
III 正味財産の部			
一般正味財産	214,243,094	188,584,528	25,658,566
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
正味財産合計	214,243,094	188,584,528	25,658,566
負債及び正味財産合計	241,884,977	216,112,456	25,772,521

正味財産増減計算書

令和2年度年度

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 受取会費			
正会員受取会費	82,910,000	57,410,000	25,500,000
準会員受取会費	24,730,000	17,670,000	7,060,000
正会員入会金	0	0	0
その他会費			0
② 未収受取補助金			
未収北海道補助金	0	0	0
③ 受取補助金等			
北海道建設業協会助成金	766,936	787,701	△ 20,765
受取事務受託金	728,303	616,755	111,548
④ 雑収益			
受取利息等	6,143	6,844	△ 701
有価証券運用益	250,677	441,192	△ 190,515
雑収益	465,000	570,390	△ 105,390
経常収益計	109,857,059	77,502,882	32,354,177
(2) 経常費用			
① 事業費			
事業費計	52,178,208	61,438,188	△ 9,259,980
② 管理費			
管理費計	32,020,285	29,313,889	2,706,396
経常費用計	84,198,493	90,752,077	△ 6,553,584
当期経常増減額	25,658,566	△ 13,249,195	38,907,761
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
定期預金取崩収入	0	10,000,000	△ 10,000,000
退職給付引当金戻し入れ			0
資産増加額	0	2,818,800	△ 2,818,800
経常外収益合計	0	12,818,800	△ 12,818,800
(2) 経常外費用			
固定資産取崩額	0	10,000,000	△ 10,000,000
固定資産取得支出		0	0
退職給付引当金支出		0	0
経常外費用合計	0	10,000,000	△ 10,000,000
当期経常外増減額	0	2,818,800	△ 2,818,800
当期一般正味財産増減額	25,658,566	△ 10,430,395	36,088,961
一般正味財産期首残高	188,584,528	199,014,923	△ 10,430,395
一般正味財産期末残高	214,243,094	188,584,528	25,658,566
II 指定正味財産増減の部			0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	214,243,094	188,584,528	25,658,566

財産目録

令和3年3月31日現在

(単位:円)

科 目		金 額	
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金			
現金手許有高		1,773,523	
普通預金	北洋銀行 函館中央支店	36,587,483	
	北海道銀行 函館駅前支店	878,988	
流動資産合計			39,239,994
2.固定性資産			
定期預金			
退職給付引当資産		26,889,750	
諸行事定期預金		27,110,250	
(定期預金	北洋銀行 函館中央支店)	0	
(定期預金	北海道銀行 函館駅前支店)	0	
(定期預金	北陸銀行 函館支店)	(6,000,000)	
(定期預金	労働金庫 函館支店)	(6,000,000)	
(定期預金	青森銀行 函館支店)	(6,000,000)	
(定期預金	みちのく銀行 函館支店)	(6,000,000)	
(定期預金	道南うみ街信金 函館本店)	(6,000,000)	
(定期預金	渡島信金 函館支店)	(6,000,000)	
(定期預金	函館商工信組 本店)	(6,000,000)	
(定期預金	商工中金 函館支店)	(6,000,000)	
(定額貯金	ゆうちょ銀行 函館駅前支店)	(6,000,000)	
定期預金合計		54,000,000	
その他の固定資産			
土地 (設立時函館市大森町19番6号他	1,818㎡	112,700,000	
建物	協会本館 3階建 集会所	25,238,829	
	協会研修室 2階建 事務所	8,301,054	
什器備品	パソコン他事務機器	130,100	
有価証券	株ドーコン 4,200株	1,575,000	
	ゴルフ会員権 北海道CC	700,000	
その他の固定資産合計		148,644,983	
固定資産合計			202,644,983
資産合計			241,884,977
II 負債の部			
1.流動負債			
預り金	職員等の源泉所得税・社会保険料	752,133	
未収会費		0	
流動負債合計			752,133
2.固定負債			
退職給付引当金		26,889,750	
固定負債合計			26,889,750
負債合計			27,641,883
正味財産合計			214,243,094

財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券

償却原価法(定額法)を採用している。ただし、取得価額と券面額との差額について重要性の乏しいものについては、取得価額により評価している。

その他の有価証券(時価のないもの)

移動平均法による原価法を採用している。

(2) 固定資産の減価償却の方法

定額法を採用している。

なお、主な耐用年数は以下のとおりである。

建物	15年～50年
什器備品	3年～15年

(3) リース取引の処理方法

リース会計基準適用初年度開始前の所有権移転外ファイナンス・リース取引を引き続き通常の賃貸借処理に係る方法に準じた会計処理を適用している。

(4) 消費税等の処理方法

税込方式を採用している。

2 固定資産の取得価格、減価償却累計額及び当期残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円) 令和3年3月31日現在

科 目	取得価格	減価償却実施額	減価償却累計額	当期残高
協会本館	96,181,722	1,731,271	78,990,953	17,190,769
本館附属設備	15,796,800	1,490,466	7,748,740	8,048,060
研修室	21,630,000	817,614	13,328,946	8,301,054
什器備品	7,865,743	115,072	7,735,643	130,100
固定資産除却				
合 計	141,474,265	4,154,423	107,804,282	33,669,983

3 保証債務等の偶発債務 なし

4 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益 R2.3.31現在

科 目	帳簿価額	時価	評価損益
			0
合 計	0	0	0

5 関連当事者との取引の内容 なし

6 重要な後発事象

収 支 計 算 書

令和2年度

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

科 目	予算額	決算額	差 異	備考
I 事業活動収支の部				
1 事業活動収入				
① 入会金収入				
入会金収入			0	
② 未収受取補助金				
未収北海道補助金			0	
③ 会費収入				
正会員会費収入	75,000,000	82,910,000	△ 7,910,000	
準会員会費収入	25,000,000	24,730,000	270,000	
④ 事業収入				
⑤ 補助金等収入				
北海道建設業協会助成金収入	1,400,000	766,936	633,064	
事務受託収入	600,000	728,303	△ 128,303	
⑥ 雑収入				
受取利息収入	3,000	6,143	△ 3,143	
有価証券運用収入	210,000	250,677	△ 40,677	
雑収入 貸館料他	787,000	465,000	322,000	
事業活動収入計	103,000,000	109,857,059	△ 6,857,059	
2 事業活動支出				
① 事業費支出				
講習会費支出 他	63,850,000	48,023,785	15,826,215	
② 管理費支出				
修繕費支出 他	34,750,000	32,020,285	2,729,715	
事業活動支出計	98,600,000	80,044,070	18,555,930	
事業活動収支差額	4,400,000	29,812,989	△ 25,412,989	
II 投資活動収支の部				
1 投資活動収入				
① 退職積立預金取崩収入				
② 固定資産売却収入				
什器備品売却益	0	0	0	
投資活動収入計	0	0	0	
2 投資活動支出				
① 特定資産取得支出				
特定定期預金増加支出			0	
投資活動支出計			0	
② 固定資産取得支出				
什器備品購入支出			0	
改築修繕購入費支出	0	0	0	
投資活動支出計	0	0	0	
投資活動収支差額	0	0	0	
III 財務活動収支の部				
定期預金取崩(繰越金減少)	0	0	0	
IV 予備費支出	1,000,000			
当期収支差額	3,400,000	29,812,989	△ 25,412,989	
前期繰越収支差額	21,300,000	8,674,872	12,625,128	
次期繰越収支差額	24,700,000	38,487,861	△ 13,787,861	

予備費は理事会の承認の上 事業費、管理費に充当使用した。

収 支 計 算 書 に 対 す る 注 記

1 資金の範囲

資金の範囲には、現金預金、預り金を含めている。
なお、前期末及び当期末残高は、下記2に記載するとおりである。

2 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳

(単位 円)

科 目	当期期末残高	当期期首残高
現金・預金	39,239,994	9,313,050
定期預金	0	0
合 計	39,239,994	9,313,050
預り金	752,133	638,178
合 計	752,133	638,178
次期繰越収支差額	38,487,861	8,674,872

監査報告書

一般社団法人 函館建設業協会
代表理事 森川 基嗣 殿

令和3年4月8日


私たち監事は、令和2年4月1日から令和3年3月31日までの令和2年度における会計及び公益目的支出計画実施報告書を監査いたしました。
その結果につき次のとおり報告します。


1. 監査の方法の概要


各監事は、理事会その他の重要な会議に出席し理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査し、当該事業年度に係る会計書類及び公益目的支出計画実施報告書について、監査及び検討した。

2. 監査意見

- (1) 貸借対照表、正味財産増減計算書(損益計算書)、財産目録及び収支計書は、会計帳簿の記載金額と一致し、法人の収支及び財産の状況を正しく示していると認めます。
- (2) 事業報告書の内容は、真実であると認めます。
- (3) 公益目的支出計画実施報告書は、法令及び定款に従い、当協会の公益目的支出計画の実施の状況を正しく示しているものと認めます。
- (4) 理事の職務執行に関し、不正の行為または法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。

監事 大江 一秀 

監事 高橋 千尋 

監事 若狭 正仁 

会員の代表者名の変更

会 社 名	旧代表者名	新代表者名	摘 要
株式会社 今井工務店	代表取締役社長	代表取締役社長	会社の都合により
	斉 藤 善 美	川 口 孝 徳	(令和2年4月1日)
平谷折谷建設 株式会社	代表取締役社長	代表取締役社長	会社の都合により
	平 谷 信 行	平 谷 好 広	(令和3年1月19日)

会 員 の 動 静

令和2年3月末現在

昭和48年度			昭和49年度			昭和50年度			昭和51年度			昭和52年度		
会員数			退会	入会	会員数	退会	入会	会員数	退会	入会	会員数	退会	入会	会員数
81			1	36	116	1	0	115	0	0	115	1	0	114

昭和53年度			昭和54年度			昭和55年度			昭和56年度			昭和57年度		
退会	入会	会員数	退会	入会	会員数	退会	入会	会員数	退会	入会	会員数	退会	入会	会員数
0	0	114	0	0	114	0	0	114	2	0	112	1	0	111

昭和58年度			昭和59年度			昭和60年度			昭和61年度			昭和62年度		
退会	入会	会員数	退会	入会	会員数	退会	入会	会員数	退会	入会	会員数	退会	入会	会員数
1	0	110	0	0	110	4	0	106	2	0	104	1	3	106

昭和63年度			平成元年度			平成2年度			平成3年度			平成4年度		
退会	入会	会員数	退会	入会	会員数	退会	入会	会員数	退会	入会	会員数	退会	入会	会員数
0	0	106	2	0	104	0	0	104	1	0	103	0	0	103

平成5年度			平成6年度			平成7年度			平成8年度			平成9年度		
退会	入会	会員数	退会	入会	会員数	退会	入会	会員数	退会	入会	会員数	退会	入会	会員数
0	0	103	0	0	103	0	0	103	1	0	102	1	0	101

平成10年度			平成11年度			平成12年度			平成13年度			平成14年度		
退会	入会	会員数	退会	入会	会員数	退会	入会	会員数	退会	入会	会員数	退会	入会	会員数
0	0	101	2	0	99	1	0	98	3	0	95	5	0	90

平成15年度			平成16年度			平成17年度			平成18年度			平成19年度		
退会	入会	会員数	退会	入会	会員数	退会	入会	会員数	退会	入会	会員数	退会	入会	会員数
0	2	92	1	1	92	7	0	85	1	0	84	4	0	80

平成20年度			平成21年度			平成22年度			平成23年度			平成24年度		
退会	入会	会員数	退会	入会	会員数	退会	入会	会員数	退会	入会	会員数	退会	入会	会員数
9	0	71	4	1	68	2	0	66	3	0	63	0	0	63

平成25年度			平成26年度			平成27年度			平成28年度			平成29年度		
退会	入会	会員数	退会	入会	会員数	退会	入会	会員数	退会	入会	会員数	退会	入会	会員数
1	0	62	1	4	65	0	0	65	0	0	65	3	0	62

平成30年度			令和元年度			令和2年度		
退会	入会	会員数	退会	入会	会員数	退会	入会	会員数
1	0	61	2	0	59	1	0	58